



# 「園」 愛 隣 幼 稚 園 だ よ り 17. 11月号

## “おやじ”の皆様へ

今年の10月は梅雨よりもたくさん雨が降りました。運動会もそんな空模様のお陰で延期を余儀なくされ、雨続きの天気予報の中に見つけた※マークを頼みに平日開催とさせていただきました。土曜日ならきっとたくさんのお家の方と卒業生で、園庭はいっぱいになっていただろうに、残念だなあと思っていました。ところが予想に反して、園庭はたくさんのお家の方で埋まり、その中にはお父さんのお顔もたくさんありました。嬉しい運動会になりました。しかしそこには、運動会に参加できなかったお父さんたちの残念な思いがいっぱいあることを、後日お母さんたちが教えてくれました。「まさか平日になるとは思わなくて・・・。」「リレー、頑張っていたので見せたかった。すごく楽しみにしていたし。」そんな声をたくさん聞いて、申し訳ない気持ちになりましたが、同時にとても嬉しい気持ちにもなりました。運動会を楽しみにしてくださるお父さんたちが、こんなにたくさんいてくださるなんて、ほんとに幸せなことだと思ったのです。

ご存知のとおり愛隣幼稚園には“おやじの会”があります。しかし、ほとんどのお父さんが自分は参加登録していないので、“おやじの会”のメンバーではない、とっていらっしやると思います。でも実は、お母さんたちの“ぶどうの会”同様、“おやじの会”も愛隣の保護者であれば入園と同時に会員になっている、そうお考えただいてよい性質のものということ、ここでお伝えしておきたいと思います。なぜなら、特に入会、退会などという手続きを“おやじの会”は行っていません。愛隣に繋がる“おやじ”は、それだけで“おやじの会”を構成するメンバーだということです。ですから在園の“おやじ”も卒業してしまった“おやじ”もみ～んな“おやじの会”で繋がっているのです。お母さんたちが言っています。「“おやじ”は卒業しても愛隣と繋がっていていいなあ。」「私たちにはそういうのがないじゃない。」実はそんな声から発足したのが<おひさまの会>（絵本を読む会のOG版）だったりしています。母主体のサークルには入会という一定の手続きがあり（活動の性質上）、“おやじの会”にはそれがない。そうです。面倒な縛りはないのです。活動には誰でもいつでも参加できますし、参加することは義務ではありません。

2005年、“おやじの会”は発足しました。子どもたちが楽しんでいる幼稚園の生活を、おやじたちの仲間作りを通して同じように楽しみたい、そんなことを考えるおやじたちが集まって発起人となりました。その時に定められた会の目的には以下のように書かれています。

- ① 子どもを同じ園に通わせる父親の交流と親睦を図る。
- ② 父親の子育てについて考えあう場とする。
- ③ 幼稚園の活動に父親として参加・協力をする。

「幼稚園」という場を通して、こんなことを目的に気軽に“おやじ”たちが集まり、繋がり、仲間になっていくことができれば、それもまた子育てが面白くなるきっかけになるのではないかと思います。愛隣はご家庭の子育てを応援しています。その子育ては母も父も関わる（当たり前ですが、敢えて）子育てです。母だけでなく“おやじ”にも子育ての苦労や楽しみを共有してほしいのです。佐々木正美氏が著書の中でこう書いています。一子どもが健全に育っていくためには、まず母性性を必要なだけ充分にあたえること、そのあと順次、父性性が機能していくことが何より重要です。一（「はじめは愛着から」福音館）だとすると、幼稚園のこの時期は、そろそろ“おやじ”の出番が増えてくるということか・・・。な～んてことを“おやじの会”の活動を通じて“おやじ”たちが語り合えたらいいんじゃないかと、愛隣は考えているのです。“かあちゃん”たちにはそんな機会がたくさんありますし、そもそも井戸端会議が得意な人たちです。それに比べて“おやじ”たちはそんな機会にも恵まれず、出遅れ感満載です。シャイなのも知っています。群れるの嫌いなのも知っています。でも、せっかくですからできれば愛隣で仲間を作っていってください。そして子育てを楽しんじゃってください。それが子どもの支えになり、パートナーの支えにもなると思うのです。最後に一言、こんな仲間作りがで

きるのは今だけです！11月11日(土)ミニメンテナンスやります。かる〜い気持ちで、来てみてください。